

## 報告事項 1

### ●平成27年度事業実施報告（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

平成27年度の協会運営は、平成27年の定時社員総会で承認された事業計画と予算に則り、公益社団法人として、代表理事会長・理事副会長のもと理事会の執行機関として8つの「委員会」を設置し、各「委員会」ごとに責任を持って事業を推進し、全体を調整する機関として「総括運営委員会」を置き、当協会の理念に基づき、多岐にわたる協会の事業を具体的に効率よく実施し、収支ともほぼ予算内で行いました。

#### A. 公益事業

##### 1. 日本写真協会賞の平成27年表彰及び平成28年選考【表彰委員会】

###### ○平成27年対外発表及び表彰式、展示会の実施

- ・我が国の写真文化活動に顕著な功績が認められた内外の個人、団体をはじめ、前年に優れた作品・評論を発表された方々の中から2月18日に各賞の受賞者を選定した平成27年日本写真協会賞を、4月15日にカメラ記者クラブで対外正式発表しました。又、関係諸機関・一般紙報道機関や公共機関には、ニュースリリースを配布して広く写真愛好家に告知するべく広報活動にも注力しました。
- その後、表彰式を、6月1日午後5時30分より三田の笹川記念会館で開催し、引続き同館レストランで受賞者祝賀会パーティーを東京写真月間レセプションと兼ねて開催し200名の方々に参加いただきました。
- ・受賞作品展は六本木の富士フィルムフォトサロン東京で5月29日～6月4日に開催し、六本木という場所柄もあり、会員や写真愛好家以外にも多くの方々に受賞者の受賞内容を鑑賞いただきました。

###### ○平成27年受賞者及び受賞理由（敬称略、五十音順）

###### ☆作家賞： 原 芳市

ストリッパーを被写体としたドキュメンタリー写真を長年撮り続け、近作では夢と現実の狭間を歩き回る心情的写真へと変貌を遂げた。その長年の写真制作活動に対して

###### ☆作家賞： 南川三治郎

美術家や作家の創作現場を捉えた初期の作品から、近作の伊勢神宮をテーマとした作品まで、被写体やテーマと真摯に向き合う姿勢と周到な取材で、たゆみない撮影を重ねてきた。長年の写真制作活動に対して

###### ☆新人賞： 石川竜一

スピード感と柔軟さを活かして沖縄を重層的に捉えた作品は、写真集『絶景のポリフォニー』、『okinawan portraits 2010-2012』他で発表され、話題を呼んだ。将来が期待されるその制作活動に対して

###### ☆新人賞： 中井精也

「1日1鉄!」や「ゆる鉄」などにより鉄道写真にイノベーションを巻き起こし、更に社会性の濃い表現も追求するなど、鉄道写真の可能性を切り開いてきた。その馬力と牽引力溢れる制作活動に対して

###### ☆国際賞： サイモン・ベーカー

ロンドンのテート・モダン美術館写真部門責任者として、日本の写真作品の収集・展示を積極的に行い、また著作を通じて日本写真を世界に広く知らしめた。その多大な尽力に対して

###### ☆功労賞： 川口邦雄

自然に対する幅広い知識に裏打ちされた独自の個性により、半世紀以上に渡り山岳写真に大きな存在感を示してきた。その長年に渡る写真界への貢献に対して

###### ☆功労賞： 鐔山英次

東京新聞写真部員として活躍し、退職後は武蔵野を流れる野川の再生や津軽の撮影など、写真と社会との融合を考え活動してきた。その長年の功労に対して

###### ☆学芸賞： 白山真理

著書『<報道写真と戦争> 1930-1960』において報道写真という視点から戦前・戦中・戦後を連続性において捉え、また資料的な裏付けのもと、日本写真史の空白を埋めた。その画期的な労作に対して

## ○平成28年受賞者の選考

平成28年日本写真協会賞の選考は、恣意的な選考に陥らないよう、会員及びノミネーターから昨年末までに候補者の資料を広く収集し、平成28年2月18日（木）、5名の選考委員による「選考会」を開催し、作家賞2名、新人賞2名、国際賞1団体、学芸賞1名、功労賞2名及び1団体、の受賞者を内定致しました。

これを平成28年3月18日開催の理事会で承認決定し、年度の改まった平成28年4月13日に对外発表。

### ○選考委員（敬称略、五十音順）

勝又ひろし（全日本写真連盟事務局長）

鬼海弘雄（写真家）

齋藤康一（写真家）

増田 玲（東京国立近代美術館主任研究員）

百瀬俊哉（写真家）

### ○平成28年受賞者及び受賞理由（敬称略、五十音順）

#### ☆作家賞： 畠山直哉

東日本大震災の被害をうけた故郷を撮影した作品群は、「自然と人間」に関する多年の写真行為と、当事者として写真を残していこうという揺るぎない意志を観る者に感じさせる。写真を手段として思想を映像化するその独自の作品制作に対して

#### ☆作家賞： 山岸 伸

すぐれたカメラワークにより捉えられたタレントや各界著名人、ばんえい競馬のルポルタージュ、上賀茂神社の式年遷宮を撮影した作品など、誰にとってもわかりやすくかつ秀逸な長年の写真活動に対して

#### ☆新人賞： 新井 卓

写真集『MONUMENTS』他で、被災した福島をはじめとする現実を見つめ、記録するために積極的にダゲレオタイプ（銀板写真）を用いた。そのユニークな作品制作に対して

#### ☆新人賞： 初沢亜利

沖縄とどう向き合うかを自身と日本人に問いかけ大きなインパクトを与えた写真集『沖縄のことを教えてください』は、数多い沖縄の写真の中で異彩を放つ。その卓越した写真活動に対して

#### ☆国際賞： 崔仁辰と『韓国写真史 1631-1945』翻訳チーム

韓国で1999年に上梓され、2015年に日本語版が刊行された『韓国写真史 1631-1945』は、韓国の写真史を知るための扉を開くものであり、日本統治時代の空白をうめるものともなっている。30年にわたる崔仁辰氏の研究の成果と、翻訳チームの緻密な訳業に対して

#### ☆功労賞： 桑原史成

長期にわたって「水俣」など一貫したテーマを追いかけ、日本を代表する報道写真家の一人として、単に写真界だけでなく社会一般に影響を与えてきた。その長年の功績に対して

#### ☆功労賞： ㈱写真弘社（代表・柳澤卓司）

プロラボの先駆けとして、創立以来イベントや写真展に高度な技術を開発し提供し続けてきた他、ギャラリーの開設やカレンダーの発行など日本の写真文化振興に大いに寄与した功績に対して

#### ☆功労賞： 広田尚敬

独自の表現による鉄道写真の先駆けとしてこの世界を牽引する第一人者となり、日本鉄道写真作家協会の初代会長を務めるなど、鉄道写真ブームに大いに貢献、その一端を担ってきた。その多大な功績に対して

#### ☆学芸賞： 小原真史

IZU PHOTO MUSEUMの開館以降、同館にて骨太の企画を取り上げ、アカデミックに掘り下げつつ、同時に一般的な関心も引く展示を開催し、話題を呼び続けてきた。その活動に対して

## 2. 「東京写真月間2015」の開催と「大阪写真月間2015」への協賛 【写真月間委員会】

今年で創設20年目を迎えた「東京写真月間2015」は、当協会及び東京都写真美術館共催、外務省、環境省、文化庁、東京都、ネパール連邦民主共和国大使館の後援、27の企業の協賛、YUKI TORIIの特別協賛、その他多くの協力・特別協力を頂き、5月20日から約6週間にわたって開催し、**延べ入場者数32,925人**を数え、6月28日好評のうちに終了しました。また地方巡回展には、北海道東川町、新潟県、福島県、長野県小諸市、金沢市、名古屋市、大阪府、高知県、福岡市での巡回展示開催いたしました。

### ○国内展 「島」島は日本の原点

総入場者数 10,636名

国内企画展では、日本本土から遠く離れた、交通の便に恵まれない、厳しい環境の離島で生活する人々を捉えた4名の写真家による写真展を開催。その後「写真の町」東川町文化ギャラリー7月11日～28日、福島テルサ8月29日～9月8日、金沢21世紀美術館市民ギャラリー11月17日～23日、九州産業大学美術館平成28年1月8日～14日、高知県立文学館平成28年1月30日～2月7日を巡回致しました。

#### 百々 武写真展「海流」

コニカミノルタプラザ・ギャラリーC

5月20日～29日

入場者数 7,090名 (10日間)

物に充足された現代社会の人々の価値観に疑問を持ち、再発見する為に離島通いを始め、島民が自然の恵みに感謝し脅威に対しては畏怖の念を持ちながら、先祖の行き方を伝承する姿に感動を覚え、その様子を捉えた世界を展示。

#### カベルナリア吉田写真展「絶海の孤島」

オリンパスギャラリー東京 5月29日～6月3日

入場者数 1,121名 (6日間)

日本本土からはるかに離れた東シナ海や太平洋に広がる孤島に住む人々に触れ、自然との共生の生活を通じて人々が過酷な生活環境を乗り越えて生きる姿を捉え続け、日本のはるか遠い海のむこうにも我々が知らない本があることを訴えていた。

#### 太田章彦写真展「Stranger of island - 海士-」

エプソンイメージングギャラリーエプサイト

6月5日～6月18日

入場者数 1,179名 (6日間)

以前、島根の山あいの村で暮らし「限界集落とは何か」を視覚化するために撮影する中で「限界集落」で暮らしている人の姿を観察する内「豊かさとは何か」という疑問にたどり着いた途端、集落での暮らしがわからなくなった作者が、隠岐諸島の島のひとつ海士町に移り住み、都市に比べ、便利ではないこの島の人々を魅きつける生活・自然を生き生きと表現。トークイベントも若い人を中心に多くの人が集まり熱心に聴講していた。

#### 加藤庸二写真展「島-花綵列島」

ヒルトピア アートスクエア(ヒルトピアショッピングアーケード内) 6月18日～28日 入場者数 396名 (11日間)

日本にある430余の有人島の殆どを踏破した島博士こと加藤庸二は、日本を取り巻く島々は地図上ではユーラシア大陸にかけられた首飾りのように感じた。はるか太平洋の彼方まで広がる我が国の離島群の文化は日本文化のルーツかもしれないと考え、離島旅行に拍車がかかる。今回の写真展は現在までの集成版として展示している。

### ○国際展「アジアの写真家たち2015 ネパール」

総入場者数 7,209名

今年で12回目を迎えたアジアの写真家達はヒマラヤ登山の表玄関、世界の登山愛好家の間で人気があるネパール連邦民主共和国の19名の写真家による写真展を開催した。直前の首都カトマンズを中心に甚大な被害をを起こした大地震が発生し開催が危ぶまれたが、幸い出展写真家の全員無事が確認でき、事なきを得て開催することが出来た。開催中には4名の写真家が来日し、各会場でのセミナー・ギャラリートークの他、多くの写真関係者との交流を図り友好関係を構築することができた。なお、「アジアの写真家たちネパール展」開催中ネパール大地震緊急募金を行う。128,774円の募金が集まり、特定非営利活動法人 南アジア人材開発機構に寄付した。ニコンサロンbis 大阪10月1日～7日に巡回

#### ・「Aggressive Photographers in Nepal Nowadays 1」

キャノンSタワー2F オープンギャラリー 5月22日～6月12日

入場者数 1,924名 (17日間)

Sailendra Kharel, Chemi Dorje Lama, Shikhar Bhattarai, Mani Lama

#### ・「Aggressive Photographers in Nepal Nowadays 2」

新宿ニコンサロン

5月26日～6月8日

入場者数 3,739名 (14日間)

Narendra Shrestha, NayanTara Gurung Kakshapati, Prasiit Sthapit, Kishor Sharma

5月30日(土) Kishor Sharma セミナー

招聘写真家によるギャラリートークを行い、多くの参観者との間で写真表現の狙いについて熱心な質疑応答

・「Aggressive Photographers in Nepal Nowadays 3」  
プレイス M/M2 6月1日～6月7日 入場者数 1,000名 (14日間)  
Htoo Tay Zar / Kaung Htet / Ye Aung Thu / Min Zayar Oo

・「Aggressive Photographers in Nepal Nowadays 4」  
ヒルトピア アートスクエア 6月18日～28日 入場者数 396名 (10日間)  
Aung Pyae / Thet Htoo / Soe Zeya Tun / Myanmar Street Photographers / Ko Phyo / Win Naing

「アジアの写真家たち ネパール展交流の夕べ」

キャノンSタワー3FキャノンホールS ホワイエ 6月2日 出席人数：150名  
ネパール大使を含め参加者約150名の交歓パーティーで日本の写真関係者と懇親ができた。

○「写真の日」記念 公募による写真展 2015

新宿パークタワーギャラリー3 6月12日～15日 入場者数 600名 (4日間)  
応募人数 1,029名、応募枚数 2,480点の中から外務大臣賞・環境大臣賞・優秀賞・協賛会社賞 (42社) などの他合計 308点展示。

選考委員：佐藤仁重、秦 達夫 (公社) 日本写真協会 表彰式：6月13日 200名

「写真の町」東川町文化ギャラリー7月11日～28日、富士フォトギャラリー新潟8月1日～20日、福島テルサ4Fギャラリー 8月29日～9月8日、ニコンサロン bis 大阪10月1日～7日、HCL フォトギャラリー名古屋10月27日～11月9日、金沢21世紀美術館市民ギャラリー11月17日～23日、小諸市立小諸高原美術館市民展示室12月3日～20日、九州産業大学美術館平成28年1月8日～14日、高知県立文学館 平成28年1月30日～2月7日の9か所を巡回しました。

○「1000人の写真展 《わたしのこの一枚》」

新宿パークタワーギャラリー3 6月6日～10日 入場者数 4,000名 (4日間)  
※世界各国に配布する総務省発行統計本「STATISTICAL HANDBOOK OF JAPAN 2015」に9点選出掲載。

○企画展「見つけた！撮った！ワンダーランド」

みどりのiプラザ/ギャラリー1 5月16日～6月6日 入場者数 2,000名 (22日間)  
1. 「こどもの目線」写真展 2015 1,100点展示 5月16日～6月6日  
2. 「G サミット2015」 150点展示 6月9日～26日  
※5月17日 写真展に参加した子供たちによるキックオフイベント実施 (緑と水の市民カレッジ3F)

○日本写真協会賞受賞作品展

日本写真協会賞受賞作品展は5月29日～6月4日、東京六本木の富士フィルムフォトサロンで開催しました。

入場者数 8,630名 (7日間)

○レセプション

6月1日 午後6時40分より三田の笹川記念会館レストランで、日本写真協会賞受賞者祝賀会、叙勲・褒章受賞者祝賀会と東京写真月間オープニングセレモニーを兼ねて開催し 200名の方々に参加いただきました。

○図録の発行

平成27年に実施した「東京写真月間2015」を総括した図録を作成して、ご協力いただいた関係機関に配布すると共に関係各国大使館や図書館、美術館、ギャラリー、行政府等の公共機関にも無料提供。

又、「写真の日 記念写真展」入賞者等購入を希望する写真愛好家には一冊2,000円で頒布しました。

この「東京写真月間2015」の開催にあたり、外務省、環境省、文化庁、東京都、ネパール連邦民主共和国大使館のご後援、各企業、団体からのご協賛、ご協力をいただきました。

○「大阪写真月間2015」を共催

大阪の写真文化の向上を目指す「大阪写真月間」は今年で14年目を迎え、下記内容の写真展等を実施しましたが、その趣旨に賛同し協賛金441,000円を協賛して応援しました。

① 小学生のための写真教室「親子で挑戦！モノクロ写真教室」 5月10日 ビジュアルアーツ専門学校

参加人数:16家族19名 一眼レフでモノクロフィルムフィルム現像プリント体験。協力:富士フィルム(株)

- ② **写真家150人の一坪展** 5月28日～6月11日 **6会場 参加者137名**  
大阪ニコンサロン、ニコンサロンbis大阪、キャノンギャラリー梅田、富士フィルムフォトサロン大阪、  
ビジュアルアーツギャラリー、オリンパスギャラリー大阪
- ③ **大阪写真月間ハイスクールフォトアワード2015**  
6月4日～10日 ニコンサロンbis大阪 **参加30校182作品**
- ④ **写真展「私のこの一枚」** 6月10日～15日 イロリ村 [89] 画廊 **356作品**
- ⑤ **シンポジウム「川内倫子写真を語る」** 6月7日 中嶋町ホール:大阪市北区中崎町1-6-8  
パネラー 川内倫子氏(写真家)、司会 タカザワケンジ(写真評論家)。 **参加者149名**

### 3. 国際交流活動 **【国際交流委員会】・【写真月間委員会】**

#### ① 国際展「アジアの写真家たち2015 ネパール」

ネパールから国際展出展の写真家及び関係者が来日し、日本の写真関係者と交流。

- ② 2010～2012年に日本写真協会賞新人賞を受賞した笹岡啓子、藤岡亜弥、大和田良、村越としや、公文健太郎、  
斉藤麻子各氏6名の作品60点をまとめた写真展「New Horizons(Nuevos Horizontes)」をメキシコに巡回しました。  
<メキシコ写真展>

- 1) 5月7日～5月29日 : グアナファト大学(ハリスコ州)
- 2) 6月4日～7月16日 : トラルネパントラ市文化芸術センターCEMUART(メキシコ州)
- 3) 9月21日～10月16日 : メキシコ市自治大学(メキシコシティ)

#### ③ 講演会の開催

##### 日本写真協会賞国際賞受賞者サイモン・ベーカー氏講演会

6月3日にサイモン・ベーカー氏による講演会「日本の写真を語る」を国際交流基金JFICホールさくらにて開催、  
約100名が参加しました。内容の一部は平成27年8月発行会報462号に掲載しました。

##### メキシコ国立写真美術館FOTOTECA館長フアン・カルロス・バルデス氏講演会

10月21日にフアン・カルロス・バルデス氏による講演会「写真大国メキシコの今」を在日メキシコ大使館別館5階  
エスパシオ・メヒカーノにて開催、約80名が参加しました。

#### ④平成28年度海外派遣研修生希望者の文化庁への提出

本年度は当協会への応募提出者はなし。

### 4. 写真・映像教育の推進 **【写真・映像教育推進委員会】**

写真・映像教育の推進事業は、子供達に写真の楽しさ、面白さなど感動と親しみを目的に写真体験教室を実施し、  
27年度を含めて10年間で、214ヶ所、9,917名が参加しました。

#### 平成27年度実施状況

「手作りピンホールカメラ写真体験教室」:16ヶ所 参加人数850名

「デジタル写真体験教室」:11ヶ所 参加人数229名

計27ヶ所 1,088名参加

#### ■平成27年度写真体験教室実施状況

	会場・主催者	内容	開催日	対象	参加人数
1	世田谷区立松沢小学校同窓会主催	デジタル	4月25日	小学1年～6年	30
2	京都国際写真祭2015	ピンホール	5月5日	小・中学生の親子	53
3	大田区立中萩中小学校	ピンホール	5月31日	小学1年～6年	39
4	王子第二特別支援学校王ニクラブ	デジタル	6月20日	小・中・高校生の親子	36
5	金沢いしかわ子ども交流センター	ピンホール	7月25日26日	小学生の親子	68
6	町田市フォトサロン	ピンホール	7月29、30日	小学生以上	58
7	フラワーセンター大船植物園	ピンホール	8月1、2日	小学生の親子	22
8	世田谷区立松沢小学校	ピンホール	8月5日	小学3年～6年	21
9	東京都教育委員会「夏休みスペシャル講座」	デジタル	8月8日	小学3年～6年	19

10	秦野市本町公民館	ピンホール	8月9日	小・中学生	14
11	名古屋市科学館	ピンホール	8月22、23日	小学生の親子	128
12	小平市立仲町公民館	デジタル	8月27日	小学生	13
13	小平第四小学校	ピンホール	8月28日	小学1年～6年	33
14	吹田歴史文化まちづくりセンター浜屋敷	デジタル	9月12日	小学3年～5年	9
15	聖学院小学校図工授業1年	ピンホール	7月7、8日 9月9、11日	小学1年と保護者	89
16	聖学院小学校図工授業5年	ピンホール	7月10日、9月15、16日	小学5年と保護者	94
17	(KASTから受託) 相模原市立弥栄小学校支援学級	ピンホール	9月24、28日	小学6年	4
18	(KASTから受託) 平塚市立中原中学校支援学級	デジタル	10月21日	中学1年～3年	12
19	憩い石見の芸術祭デジタル浮世絵ワークショップ	デジタル	10月24日	小学1年～5年	15
20	小平第十四小学校総合学習授業	デジタル	10月30日	小学3年2クラス	58
21	小平市立津田公民館	デジタル	10月31日	小学生	11
22	小平第八小学校	ピンホール	11月7日	小学生と保護者	18
23	多摩六都科学館	ピンホール	11月22日	小学生	57
24	狭山市写真作家協会主催	デジタル	11月23日	小学生	13
25	神奈川県立横浜平沼高校	ピンホール	H28年1月18、19、25、26日	高校2年	73
26	調布市立飛田給小学校図工科	ピンホール	H28年2月19日	小学6年生	88
27	南足柄市社会福祉協議会	デジタル	H283月29日	小中学生	13
合計					1,088

### ① ピンホール写真体験教室

写真・映像教育推進活動が学校関係者にも広く知られるようになり、小中学校の理科、図工や総合的な学習の時間の正規授業として行われる事例も増えており、高等学校の美術授業においては、撮影実習だけでなく事前レクチャーとして写真・映像全般について講義を行ないました。

### ② デジタル写真体験教室

デジタル写真教室では、プログラムの更なる充実を図り27件中11件の写真教室を実施しました。小学校から依頼を受け「カメラを通して周囲の人との身近なふれ合いや、表現することの楽しさ・面白さを体験する」をテーマとした授業なども実施しました。デジタル教室では、テーマを設けた教室の依頼も増えてきています。子どもたちは自由に色々な被写体を追いかけて、大伸ばしの四切プリントに感動し、撮影意図についても的確な意見発表をする子どもが多く、楽しい体験ができた大変好評でした。

本年度も神奈川県内の「なるほど！体験出前教室」（神奈川県研究者・技術者等学校派遣事業）の講師として採用され、神奈川県内の小中学校2校でピンホール写真とデジタルカメラの授業を行ないました。また、教育支援関係者、教育委員会関係者などが集まる「第9回東京都教育支援コーディネーター・フォーラム」に参加し、プログラムの紹介や、学校支援に関わっている方々と交流を深め、効果的な教育プログラムのあり方等について情報・意見交換を行いました。夏には東京都教育委員会主催の小学生向けワークショップ「夏休みスペシャル講座」に採用されデジカメ教室を行いました。東京、神奈川など首都圏の教育支援事業として認知度を高め、写真映像教育への関心は大きな広がりを見せています。首都圏以外では、京都国際写真祭、名古屋市科学館、石川県写真館協会の協力を得て金沢市内の小学性の親子を対象とした教室も実施しました。

## 5. 日本写真年鑑の発行 【出版広報委員会】

1958年（昭和33年）に創刊の、「日本写真年報」は編集発行事業を《不特定多数の利益の増進》に資する公益事業とすべく年間の写真活動が長年にわたって継続集約された国内唯一の資料となっており、写真関係者はもとより、諸官庁、報道機関、教育機関、美術館、図書館など広く各方面より好評を得ています。2013年版から「日本写真年鑑」と名称変更し、約2倍に増ページして従来の写真業界の年報としての機能に年間を通じて写真界の幅広い情報を掲載。さらに一般読者に興味を持っていただけるような話題を盛り込み、2014年の写真活動状況をつぶさに記録すると共に、将来を展望する内容を追加。本書により老若男女すべての読者にとって、写真を通じて新たな発見が得られるよう2015年版・第58巻を6月1日に発行致しました。

## B. 共益事業

### 1. 会報の発行 【出版広報委員会】

27年度は、季刊として年4回、5月・8月・11月・2月に461号～464号を発行し、各時点における協会の活動や今後の計画、写真文化情報などを紹介しました。

#### ・主要掲載記事

461号：日本写真協会賞受賞者決定、「写真月間2015」開幕、メキシコでの協会賞新人賞受賞作品展

462号：K・MoPA開館20周年記念展、東京写真月間20周年、サイモン・ベーカー氏講演会、大阪写真月間2015

463号：「浮世絵から写真へ」、「ドイツ銀行コレクション展」、川口邦雄・鏑山英次・南川三治郎インタビュー

464号：「写真界におけるデジタルの今」、「共有と拡散で広がる写真の楽しみ」、Paris Photo2015について

### 2. 日本写真協会賞受賞祝賀会 兼 叙勲・褒章祝賀式典 兼 東京写真月間レセプション 開催

【総務委員会・東京写真月間委員会】

6月1日に笹川記念会館において、日本写真協会賞表彰式及び当該年度の写真界における叙勲・褒章祝賀式典を行ない、引続き受章祝賀会と東京写真月間レセプションを共同開催。会員の親睦を図る意図も含め「写真の日」事業の一環として開催しました。200名の方々に参加いただきました。

## C. 法人運営事業

### 1. 公的機関が主催する写真コンテスト・イベントへの参加協力 【総務委員会】

公益社団法人に移行後、公的機関等からの写真コンテスト他の運営・審査等の相談及び協力依頼に対応。

#### ① 9月1日～10月31日 「ひらめきチャンピオン・夏休みの思い出を大募集」

(公社)日本写真協会 ・(株)山の手総合研究所

小中学生を対象に夏休みの思い出を写真に撮って投稿してもらうイベントの写真審査・講評に協力。

#### ② 12月10日～平成28年2月14日伊勢志摩サミット「世界に届けたい日本」フォトコンテスト (主催：内閣官房、内閣府)

平成28年5月に開催される伊勢志摩サミットフォトコンテストの企画、進行、広報、スマホ部門審査(2月22日、27日)に協力。首相官邸表彰式(3月24日)、政府広報誌、政府公式ウェブサイト、写真集等で写真文化の発信に努めた。

### 2. 理事会・総括運営委員会の開催 【総務委員会】

4月24日の第1回通常理事会において、平成26年度事業報告、貸借対照表および損益計算書の承認、役員改選、定時社員総会開催内容を決定いたしました。6月15日の社員総会終了後に第2回理事会を開催、会長の業務執行権代行者決定、役員報酬の支給方法を決定。平成28年3月18日に第3回通常理事会を開催、平成28年度事業計画、平成28年度予算、2016年日本写真協会賞決定を承認致しました。

また、奇数月の5月18日、7月21日、9月14日、11月16日、1月18日、3月14日の6回、2ヵ月間の事業報告及び財務状況を代表理事会長、理事副会長に各委員会委員長が報告する総括運営委員会を開催。

### 3. コンプライアンス 【コンプライアンス委員会】【総務委員会】

平成28年3月14日 コンプライアンス委員会を開催(大平業務執行理事、井沢理事、上田理事、松本理事)し、平成27年度の公益事業に関し点検を実施。また、内閣府の指示に従い平成27年度に女性理事就任。役員候補者を各事業担当委員を中心に会長・副会長にて理事会に推薦、各人ごとに社員総会の決議を得て決定したことを確認。

#### 4. 展覧会等の後援 【総務委員会】

当協会は公的機関や学校教育機関、マスコミ、写真関係団体等が主催し、内容が文化、教育、国際交流に寄与する写真展等に対して後援・協賛・協力を行っていますが、平成27年度は以下の催事をバックアップしました。

	申請者	写真展名	会期・場所
1	相模原市総合写真祭フォトイサがみはら実行委員会	相模原市総合写真祭フォトイサがみはら 2015	4月1日～平成28年3月31日 相模原市民ギャラリー他
2	㈱ルヴァイス	日本版創刊 20周年記念 ナショナルジografic展～写真で伝える地球の素顔～	4月1日～13日 大丸心齋橋店本館7階催場
3	フォトグループ「いぶき」代表 大木島毅	フォトグループ「いぶき」写真展「四季のいぶき」 【協力】	4月10日～4月16日 富士フィルムフォトサロン
4	一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2015」	4月18日～5月10日 京都市内約15カ所
5	㈱ルヴァイス	写真展「写真家が捉えた 昭和のこども」	4月25日～6月14日 川崎市立美術館
6	礼文島観光協会	2015 彩北航路フォトコンテスト	募集:5月1日～9月30日 催事場所:利礼航路
7	株式会社プロメディア	PHOTONEXT 2015 【協力】	6月2日～3日 東京ビッグサイト・西4ホール
8	日本写真学会・写真感光材料工業会	2015年度 PHOTONEXT 技術カンファレンス 【協力】	6月2日 場所:東京ビッグサイト会議棟701・702会議室
9	朝日新聞社	世界報道写真展 2015	6月27日～8月9日 東京芸術劇場ギャラリー、8月11日～8月20日 大阪・ハービスHALL、8月23日～9月6日 埼玉・イレクワンkaze、9月9日～10月4日 京都・立命館大学国際平和ミュージアム、10月6日～10月18日 滋賀・立命館大学びわこくさつキャンパス、10月21日～11月4日 大分・立命館大学アジア太平洋大学、11月7日～11月18日 広島・イノセント広島祇園
10	清里フォトアートミュージアム	写真展「未来への遺産:写真報道の理念に捧ぐ」	7月1日～9月30日 清里フォトアートミュージアム
11	公益社団法人日本広告写真家協会	第7回「全国学校図工・美術写真公募展」	7月10日～11月20日(応募受付)、展示:日本広告写真家協会 本部ギャラリー(平成28年3月20日～29日)
12	ミュージアム竹下成果工場	アートイベント島根 2015 ～ヨーロッパと日本のアート・しまね大田から海外へ～	8月1日～31日 ミュージアム竹下成果工場
13	東川町写真の町実行委員会	第31回東川町国際写真フェスティバル(フォトフェスタ 2015)	8月4日～9月2日 東川町町内一円
14	学校法人 日本放送協会学園	第22回NHK学園「旅の写真展」	8月19日～24日 みなとみらいギャラリー(横浜)
15	日本山岳写真協会	2015 山岳写真フェスティバル	8月31日～9月7日 東京都美術館 公募展示室・講堂 他
16	㈱ルヴァイス	FUJIFILM SQUARE 企画写真展 “昭和90年” 記念企画「昭和のこども～どんな時にも笑顔があった!」	9月11日～9月30日、FUJIFILM SQUARE(ジフイルムスクエア)
17	一般社団法人 日本写真学会天体写真技術セミナー実行委員会	第1回天体写真技術セミナー 【協力】	9月17日 13:30～17:30 富士フィルム(株)東京ミッドタウン本社2階 201A・B会議室
18	長野県阿智村	第18回熊谷元一写真賞コンクール	応募締切9月18日、10月下旬に「信濃毎日新聞」「中日新聞」及び地元紙に発表予定
19	公益財団法人 土門拳記念館	写真展「わたしのこの一枚」 【協力】	10月1日～10月20日 土門拳記念館
20	日本国際写真連盟	第4回 JIPF 国際公募写真展	10月6日～11日 京都市立美術館別館2階 (公募締切日:6月15日)
21	「にっぽん-大使たちの視線」写真展実行委員会	「にっぽん-大使たちの視線 2015」写真展 “Japan through Diplomats’ Eyes”	10月8日～14日 六本木ヒルズ ヒルズカフェ、11月20日～12月2日名古屋セントラルパークギャラリー、12月9日～平成28年1月12日 ひょうご国際プラザ 交流ギャラリー、平成28年9月東川町文化ギャラリー



	申請者	写真展名	会期・場所
22	山下洋一郎	写真展 “Japanese Flowers II”	10月23日(金)～11月1日(日) IMAGO's gallery (イタリア アレッツォ)
23	三軌会写真部	「森羅万象 地球同郷 空は一つ」 写真展	10月30日～11月3日 長崎市コクサギャラリー4F、11 月6日～11月9日 長崎市コクサギャラリー3F
24	BAKU 齊藤	サムツクテコ・エコグローバル・ミュージアム開 館記念 世界遺産写真展「アンコール 遺跡とプレイベア」	11月14日～(予定)、サムツクテコ・エコグローバル・ミュージ アム
25	ニュー・インターナショナル・ジャパン/共催: トリック・ジャパン	ワークショップ「異文化旅行写真術～ 写真で伝えるアジアのイメージ」 【協力】	11月15日 14時～16時30分 豊島区民センター第 14会議室
26	内閣官房・内閣府	伊勢志摩サミット「世界に届けたい 日本」フォトコンテスト	募集:12月～平成28年2月14日、 発表:平成 28年3月24日
27	デイズ・ジャパン(株)	「第12回 DAYS 国際フォトジャーナズ ム大賞」	平成28年1月～12月
28	一般社団法人日本写真文化協会	「第62回全国展フォトコンテスト」 【協賛】	平成28年1月5日～2月12日公募 平成28年6 月～東京都美術館、ポートレートギャラリー、富士フィルムフォト サロン札幌・名古屋・大阪・福岡
29	東京中国文化センター・日中写真交流 協会	第1回日中写真交流協会企画展 「美しい中国・美しい日本」	平成28年1月7日～1月15日 東京中国文化セ ンター
30	日本放送協会学園	「第26回NHK 学園生涯学習写真 展」	平成28年2月12日～18日 富士フィルムフォトサロン東 京
31	一般社団法人カメラ映像機器工業会	「CP+ 2016」【協力】	平成28年2月25日～28日 パシフィコ横浜

## 附属明細書

該当事項がないため、記載を省略しております。

以上